

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻を中心に、野菜、果樹、畜産等も生産する平地農業地域。
- 市街地との境界に位置し、今後の農家の高齢化や担い手不足に対応し、次世代の担い手の育成・確保、農地の集積、作業の省力化を図る必要がある地区。

【支援内容・背景】

- 地域の農地の引受け等による経営面積の拡大に対応して、水稻の生産体制を強化する取組を支援する必要。
- 助成対象者は水稻を中心とする大規模経営の法人であり、広域で経営面積の拡大に取り組むほか、いちご、大豆等多品目の生産にも取り組む。
このため、経営面積の拡大と効率的な生産体制を目指す大規模経営の経営力強化の取組モデルとして支援。



助成対象者「(有)うねめ農場」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成18年 経営移譲、法人化(有 限会社)
- 平成20年 農業経営改善計画の 認定(郡山市認定)
- 令和 5年 農業経営改善計画の 認定(福島県認定)

《事業活用の背景》

○ 水稻の経営面積の拡大に対応するため、作業の効率化、省力化が必要。水稻の乾燥調製作業の効率化、省力化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○純利益額 11百万円

○経営面積 88ha
(水稻、大豆、いちご等)

《事業による整備内容》

○乾燥機 80石 2台
事業費 5,390千円
(国費 1,470千円)

【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○純利益額 14百万円 (127%)

○経営面積 117ha (132%)
(水稻、大豆、いちご等)

事業の
効果

《対象者》 水稻の作業効率、省力化が図られ、経営面積の拡大が可能となり、収益力の向上が実現。

《地 区》 水稻の生産体制の強化が図られたことにより、担い手への農地の集積・集約が進展し、安定した大規模稲作経営モデルが確立。